



# 庄原トピックス

## リンドウ色鮮やか 盆向け品質◎

JA上下アグリセンター管内で7月下旬、特産のリンドウの出荷が最盛期を迎えました。4、5月



▲協力して出荷作業をする部会員ら

の高温、乾燥の影響を心配しましたが、生産者の徹底した管理で平年通りつぼみや形、草丈は良好な仕上がりに。「甲奴の花」として古くから親しまれ、鮮やかな色と高品質で日持ちが良いことから、県内市場で高い評価を受けています。

甲奴郡花き生産出荷部会は、6人が約60aでリンドウを栽培します。三次市のJA甲奴支店選荷場では、部会員が協力して荷造りをして、個選の規格や品質、数量を確認し、基準の統一と栽培技術、市況などの情報を共有します。今年10月下旬までに約4万本の出荷を見込んでいます。

## 庄原市で農業しませんか 産地見学ツアー

JAと庄原市、県は生産部会と連携して、農業体験を通して産地と地域の魅力を知ってもらう産地見学ツアーに取り組んでいます。7月20日には、トマト産地の高野町で開き4人が参加。新規就農者の獲得や農繁期の労働力不足解消などを目指します。

ツアーは昨年続き2回目、市外の10、50代の男女が参加しました。生産者やJA職



▲生産者(左)と一緒にトマトを収穫

員の指導で収穫、脇芽や下葉除去などを体験し、高野農畜産物集出荷貯蔵施設や道の駅たかのなどを見学。研修生の受け入れ体制や就農、定住などの説明を受けました。9月28日には、東城町で菊の産地見学ツアーを予定しています。

## カメムシ対策徹底を 夏季研修会で呼びかけ

庄原市果樹振興協議会は7月26日、高野町の下高自治振興センターで開いた夏季研修会で、果樹



▲早期発見と適期防除を確認しました

カメムシ類の発生状況を確認しました。県内全域で過去10年に例のない急激な増加を受け、小まめな巡回による早期発見と適期防除を呼び掛けました。

チャバネアオカメムシの5月上旬から7月中旬の累積誘殺数は、高野町で平年の28・9倍、東城町で平年の13・4倍などを記録し、今後、肥大期から収穫期にかけて果実被害の増大が懸念されます。研修会には、生産者や行政、メーカー、JA職員ら約40人が参加しました。新農薬や登録農薬の状況、適正な病害虫防除を確認。和同産業のロボット草刈り機「ロボモアKRONOS」の性能や効果も共有しました。

## 農業振興で連携強化 「比婆牛」生産拡大へ

庄原市とJAは7月9日、協議会を開き、農業振興などで意見を交わしました。市からは木山耕三市長や副市長、JAからは田中義彦組合長、佐々木祥文管農販売担当常務ら役職員が出席。「比婆牛」の生産拡大や農畜産物の生産・販売など、基幹産業である農業の振興と地域の活性化に連携して取り組むことを確認しました。

JAは2023年度実績などを説明し、農畜産物の販売実績や営農振興施策などを報告しました。



▲農業振興に向けて意見を交換

一層のブランド化に取り組み「比婆牛」の状況や振興品目のトマト、園芸品目の有利販売に向けて広島市中央卸売市場内に設ける「広島市場事務所」などで意見を交換。10月13日に総領町で「庄原みりの祭典、21」を開くことを確認しました。

# なるほどえ〜のう! 営農情報

詳しくは最寄りのJAグリーンセンター! 店にお問い合わせください。

## 稲作情報



庄原中央アグリセンター 堀江 元通

●土壌診断を活用して健康な土づくりと肥料コストの低減に取り組みましょう。

近年の天候不順に伴い、品質や収量の確保が難しくなっています。高品質で安定した稲作を行なうためには、「土づくり」が重要です。土壌診断を行なうことにより、「土壌診断処方箋」が作成され、適切な施肥量を計算することができ、これにより生産資材のコストの低減が図られます。

### 土壌診断の効果

- 健康な土づくりに役立ちます。土の中にある肥料分を調べ、その土に応じた適正な量の肥料を施すことでバランスの良い健康な土を作ります。
- 安定した品質・収量の向上に役立ちます。土の中の肥料分のバランスを整えると、作物に効率よく吸収されるので、作物の品質・収量の向上に役立ちます。
- 肥料コストの低減ができます。土の中に多く残っている肥料分は控え、足り

## 家庭菜園



庄原北部アグリセンター 藤谷 春樹

### タマネギ

原産は中央アジアと言われており、日本で最も多く栽培されているのは黄タマネギという品種で、ほかにも紫タマネギなども栽培されています。一般的には9月から翌年6月が栽培適期で、秋に播種し、苗を育てて晩秋に苗を定植します。また栄養素も高く、「硫化アリル」には血液凝固作用を遅らせる働きがあり、血液をサラサラにして血栓を予防する効果があると言われています。

### タマネギの栽培時期

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月

播種 定植 収穫

ポイント  
タマネギには「早生」「中生」「晩生」の3つに大きく分けられます。播種適期を逃さないようにしましょう。



ない肥料分のみ施すことで、必要な肥料を必要な量だけ与えることができるので、コストが低減できます。

### 土壌診断サンプル採取方法

- 採取時期 収穫後、土壌改良資材や肥料を散布する前に行ないます。
- 採取場所 圃場の四すみと中央の計5カ所から採取し、混ぜ合わせて1点のサンプルとします。畦畔から1m以上離れた場所、土壌の表面から2cm取り除いた場所から採取します。
- 風乾 採取した土を新聞紙の上に薄く広げ、日陰の風通しの良いところで乾燥させます。
- 分析用試料 十分乾燥した土を2mmくらいふるいにかけ、1圃場1点50gのサンプルを作ります。袋に生産者名、圃場名、作物名を記入しJAへ提出してください。
- 診断料金 1サンプル1,100円(税込)
- 診断項目 土壌pH・EC・有効態リン酸・置換性加里・腐食・有効態ケイ酸・遊離酸化鉄

### 土作り

施肥量(kg/a)	
堆肥	300
苦土石灰	10
やさい有機189	10~15

\*畝幅は90cm程度

### ポイント

タマネギは酸性土壌を嫌う植物なのでpHが下がらないようにしましょう。日当たりが良く排水の良い圃場を選びましょう。  
※適したpH6.0~7.0

### 定植

草丈が20cm、太さが5mm程度になった苗を条間12~15cm、株間15cm程度に定植します。タマネギはとう立ちしやすく、大球のタマネギに仕立てるには定植のタイミングが非常に重要です。苗が小さすぎると球が肥大しにくくなり、反対に大きすぎるととう立ちしやすくなります。

### 追肥

球を肥大させるために追肥は欠かせません。12月下旬から1月上旬に1回目の追肥をし、2月上旬から中旬あたりに2回目の追肥を行ないます。その後の追肥は軟弱化を助長するので避けましょう。おすすめの肥料は「そさい8号」です。有機質肥料ですが粉末状になって

いるので、溶解が比較的早いです。

\*とう立ちが多くみられる場合は肥料不足のサイン! 追肥を行ないましょう。

施肥量(kg/a)	
化成肥料	4

### 収穫

目安としては6月~7月です。葉茎が倒れてから、1週間ほど経ったら収穫できます。

### 保存

収穫後数日間天気が続くようなら、そのまま土の上に倒して天日干しすると良いでしょう。タマネギの葉は20cmほど残して切り落としておくことで、タマネギから芽が出てくなくなり栄養の分散を防ぐことができます。

### 豆知識

#### コンパニオンプランツ

「ソラマメ」「プリムソククローバー」「カモミール」は相性が良いです。タマネギの根に共生する菌が抗生物質を出すことで、ソラマメがかかりやすい「立枯病」などの病気を予防することができます。アブラムシの忌避効果も期待できます。

〔第21回〕

# 庄原の祭典'21

いのち・みどり・未来

総領おいでん祭2024と同時開催

開催  
日時

**10月13日(日)**  
午前9時30分～午後3時

開催  
場所

庄原市役所総領支所裏  
芝生広場

開催  
内容

管内の特産品、農産加工品などの展示・販売  
各種サークル、団体活動の発表  
松原のぶえ歌謡ショー

みなさまのご来場をお待ちしております。

主催／庄原市・JAひろしま庄原地域

## 臨時休業のお知らせ

仮決算にかかる棚卸のため、経済事業を行なう  
次の店舗を休業させていただきます。

**9月30日(月)**

- 庄原東部アグリセンター・庄原北部アグリセンター
- 各資材店・資材店舗 ○各生活店舗
- ギフトショップ花かご館庄原店

ご不便をお掛けしますがご理解・ご協力をお願い  
します。

## 秋の農繁期 対応のお知らせ

各農機センター

9月7日(土)～10月14日(月・祝)まで  
土曜・日曜・祝日も営業します。

10月

の年金相談会日程

日付	会場
1日(火)	東城支店
3日(木)	庄原支店
8日(火)	上下支店
10日(木)	庄原支店
15日(火)	庄原支店
17日(木)	庄原支店
22日(火)	庄原支店
24日(木)	庄原支店
29日(火)	甲奴支店
31日(木)	庄原支店

開催時間 10:00～15:30

## ギフトショップ花かご館上下店 営業時間変更について

9月より、営業時間を変更させていただきます。

**営業時間 9:00～17:30**  
**定休日 火曜日・日曜日**

(ただし、11、12月と7、8月は  
9:00～18:00までの営業となります。)